

ぽっかぽか きりん 4がつ

進級して早1ヶ月。“きりん組になる”ということがみんなの心を大きく成長させてくれたように感じます。新しいことにチャレンジする姿、お当番活動を自分達の手でやり切ろうとする姿でいっぱいの子も達です。今月号では室内での遊びの様子をお伝えしていきます♪

夕方やっているお絵かきでは文字や数字をかいてみようとする子が増えてきていたことをきっかけに『お勉強コーナー』を設けました。

このコーナーで今やっていることは、鉛筆を思い通りに動かす運筆の練習として、縦線横線、波線、ギザギザ、くるくる…等様々な線のなぞり書き、迷路等をやっています。また、“終わったら必ず大人に見せる”という事を約束にしました。そうすることで「ここが素敵だね」「最後まで頑張れたね」などと最後に褒められることで子ども達のやる気や自信に繋がるよう意識しています。

就学に向けて必要になってくるテーブルに向かって集中する時間を作るということをねらいにしていますが、まずは楽しく!ということ大切にしています。このコーナーは一人用のテーブルに壁に向かって座る事で、視覚的・聴覚的・触覚的・嗅覚的・味覚的の刺激をなるべく減らし、集中しやすい環境設定をしました。あえて『勉強』というワードを使うことで、子ども達はかっこよくやりたい!という気持ちが高まってきている様子です。

今後は運筆以外にも洞察力・空間認識力・忍耐力の力を促す間違い探しや、注意力・短期記憶力・思考力等を促す点描写等、子ども達の興味を引き出せるような内容を取り入れていきたいと思っています。

お勉強コーナー

はさみ

乳児の頃からポトリンコ等指先を使う玩具を沢山やってきた子ども達。段々と指先を器用に使えるようになってきたので、3月はハサミを使った活動を多く取り入れました!

以前読んだことのある「わにわにくん」の絵本ではハサミで指を切るシーンが出てきます。それを覚えている子ども達は、「はさみって怪我しちゃうよね」「指を(刃の所に)入れたら血が出ちゃうよね」等とハサミは楽しいだけではないという認識を持っている子もいました。

はさみではまず幅の狭い画用紙を使って一度切り、慣れてきたら幅の広い物で連続切り…というように少しずつ段階を踏んでいます。以前よりも紙が刃に巻き込まれることなく切れるようになってきていました。次の段階として今皆が頑張っているのが「線に沿って切る」という事です。ただ自由に切る事とは違い、目と手の協応も大切になってきます。また、直線以外の切り方の時には紙を動かす動作も必要です。切ったら絵が完成するような課題であったり、切り絵など変化を楽しめるようなものなどを通して、はさみ操作の向上を促していきます♪



今年度もよろしくお願い致します!

担任

補助職員